



2024年8月9日

各 位

会 社 名 横浜ゴム株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 山石 昌孝
(コード：5101 東証プライム)
問合せ先 IR 室長 西川 裕一
(TEL. 0463-63-0427)

中期経営計画「Yokohama Transformation 2026」(2024~2026年)における 財務目標の見直し(上方修正)に関するお知らせ

当社は、2024年2月16日に公表しました新中期経営計画「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク)の財務目標を下記のとおり上方修正しましたので、お知らせいたします。

1. 見直しの理由

当社は、2024年度より開始した中期経営計画「YX2026」において、既存事業における強みの「深化」と新しい価値の「探索」をさらに推し進め、次世代に負の遺産を残さないという強い意志を持って変革の「総仕上げ」に取り組んでいます。こうした考えの下、各事業で定めた成長戦略を断行し、「YX2026」中または2027年度に「Hockey Stick Growth」(「うなぎ昇り」の成長)を果たすことを目指しています。

当初、2026年度の経営目標は、売上収益1兆1,500億円、事業利益1,300億円、事業利益率11%を掲げていましたが、足元の業績好調、今後進める「技術・生産改革」の実現に加え、2024年7月22日付「ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー社の鉱山・建設車両用タイヤ事業の譲受に関するお知らせ」で公表したとおり、グッドイヤーOTR事業が業績に加わる見通しであることなどから、売上収益は1,000億円増の1兆2,500億円、事業利益は200億円増の1,500億円、事業利益率12%にそれぞれ上方修正いたします。

2. 財務目標の変更内容

財務目標 (2026年度)

	変更前	変更後
売上収益	1兆1,500億円	1兆2,500億円
事業利益	1,300億円	1,500億円
事業利益率	11%	12%
自己資本比率	50%を目安	50%を目安
ROE	10%超	10%超
営業キャッシュフロー	3,850億円(3年間累計)	4,100億円(3年間累計)
設備投資	減価償却費以内(除く戦略投資)	減価償却費以内(除く戦略投資)

以 上

2024年度上期決算説明会

2024年8月9日
横浜ゴム株式会社

1. 2024年上期実績および年間計画修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

2. 2024年上期決算説明

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

3. 中期経営計画YX2026の進捗

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

4. 技術・生産改革コミットメント

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

5. YX2026目標数値の上方修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

1. 2024年上期実績および年間計画修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

2. 2024年上期決算説明

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

3. 中期経営計画YX2026の進捗

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

4. 技術・生産改革コミットメント

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

5. YX2026目標数値の上方修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

1-1) 2024年上期実績・年間計画について



上期実績

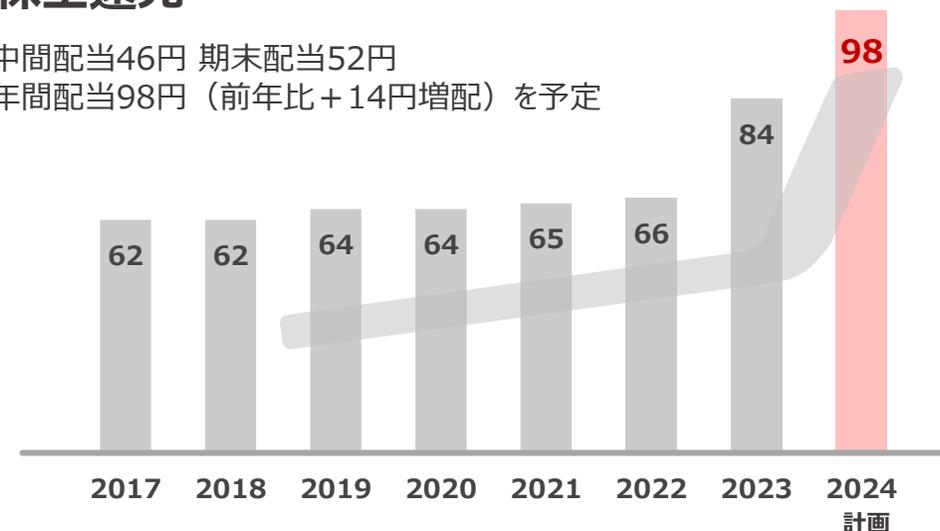
単位 (億円)	2024年上期実績	期初増減	計画比増減率	前年比増減	前年比増減率
売上収益	5,253	+253	+5.1%	+821	+18.5%
事業利益	546	+126	+29.9%	+290	+113.4%
事業利益率	10.4%	+2.0%	-	+4.6%	-
営業利益	563	+133	+30.8%	+281	+99.6%
当期利益	466	+211	+82.7%	+189	+68.3%

年間計画修正

単位 (億円)	2024年計画	期初目標
売上収益	11,050	10,600
事業利益	1,285	1,150
事業利益率	11.6%	10.8%

株主還元

中間配当46円 期末配当52円
年間配当98円（前年比+14円増配）を予定



1. 2024年上期実績および年間計画修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

2. 2024年上期決算説明

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博 →「2024年度第2四半期決算説明会資料」
をご参照ください。

3. 中期経営計画YX2026の進捗

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

4. 技術・生産改革コミットメント

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

5. YX2026目標数値の上方修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

1. 2024年上期実績および年間計画修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

2. 2024年上期決算説明

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

3. 中期経営計画YX2026の進捗

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

4. 技術・生産改革コミットメント

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

5. YX2026目標数値の上方修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝



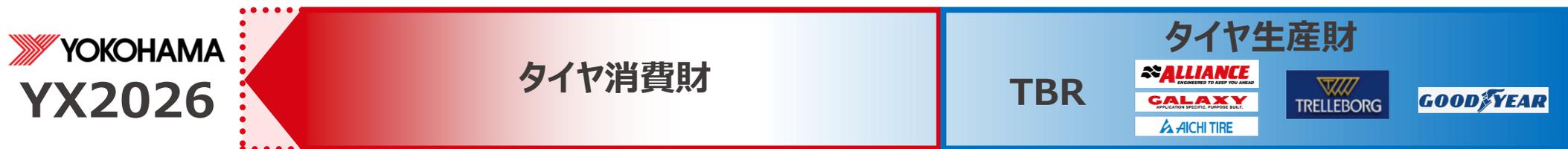
YOKOHAMA
Transformation 2026

深化×探索 による 変革の 『 総仕上げ 』

※ 負の遺産は次世代に残さない



「成長戦略」による企業価値向上

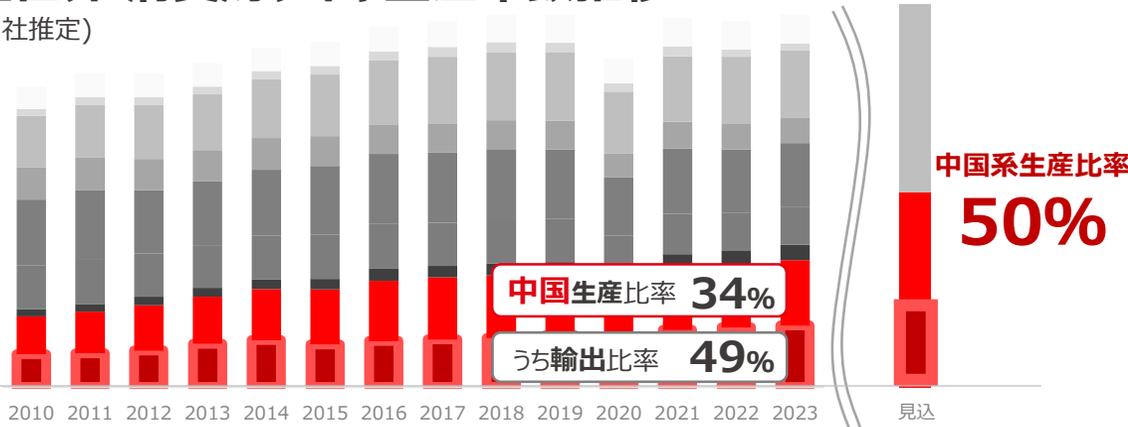


3-3) YX2026 タイヤ消費財 成長戦略の進捗

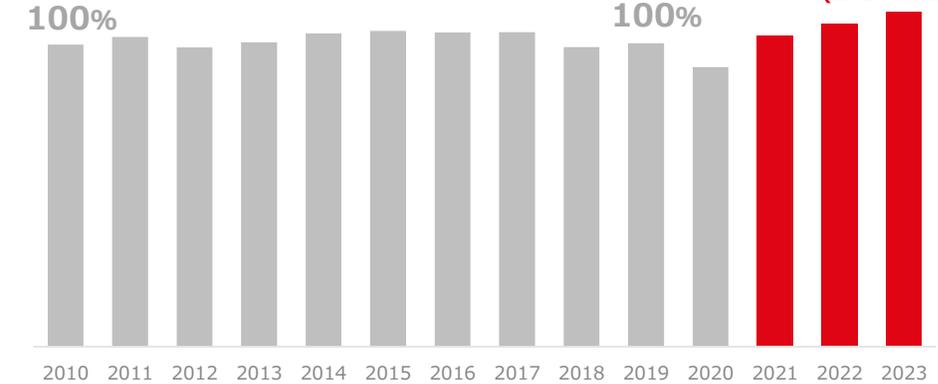


全世界 消費財タイヤ生産本数推移

(当社推定)

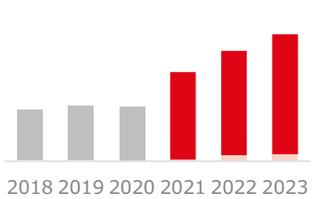


横浜ゴム 消費財タイヤ販売本数推移

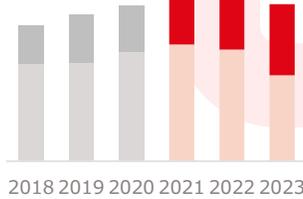


低コスト生産 (探索)

YRCインド販売本数



YRC中国販売本数



REP OE

『1年工場』への挑戦

メキシコ新工場 / 中国杭州新工場
(追い金なし)

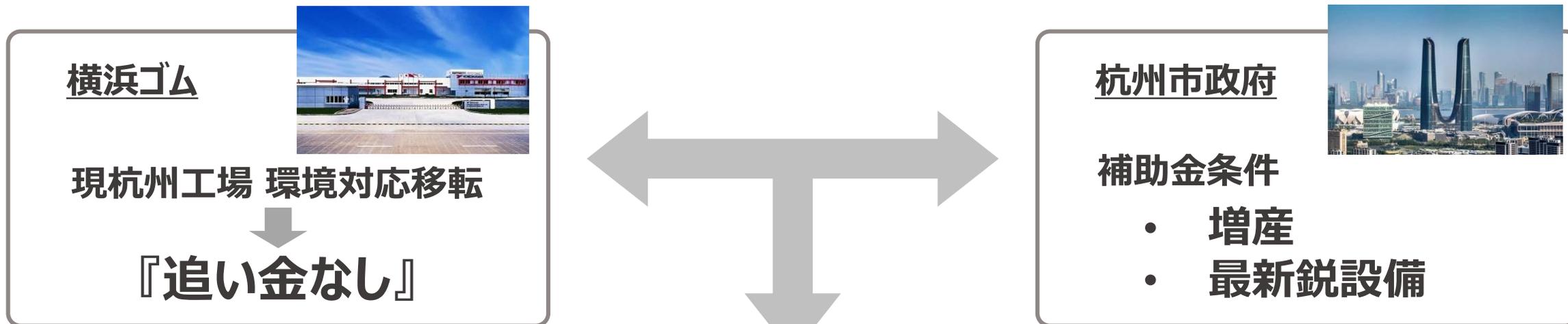
AGW (深化)



※YOKOHAMAブランド比率99%

ブランドMIX
インチMIX
販社化・代理店政策

3-4) YX2026 タイヤ消費財 成長戦略の進捗：中国1年工場

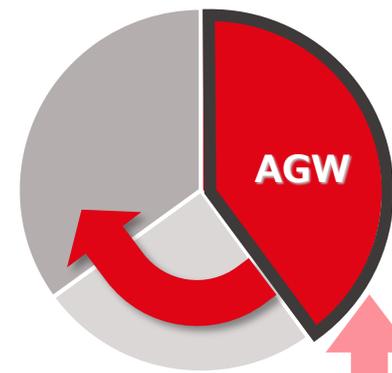


600万本 + 増産 300万本 = 900万本



300万本の投資金額でやり切る

パートナー 補助金



『1年工場』

大幅なコストダウン

汎用商品 | 低コスト生産

AGW | 更なる利益率UP

3-5) YX2026 タイヤ消費財 成長戦略の進捗：上期活動実績



プレミアムカーへの新車装着



クラウンCROSSOVER RS
"LANDSCAPE"



LEXUS 新型「GX550」

北米GEOLANDAR新商品発売

GEOLANDAR
A/T4

2024年6月発売



モータースポーツ活動



SUPER GT第2戦のGT300クラスでワンツーフィニッシュ

タイヤ消費財 販売本数上期実績

欧州

115%
2Q 131%

中国

96%
2Q 95%

日本

100%
2Q 113%

アジア・インド

115%
2Q 123%

北米

100%
2Q 97%

※フレンドタイヤ除く

高付加価値商品販売実績

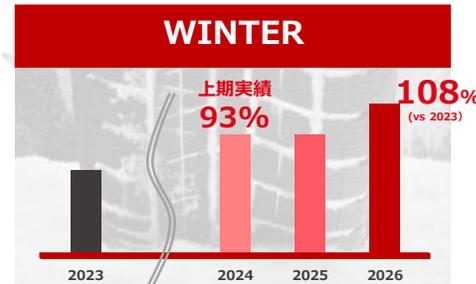
ADVAN



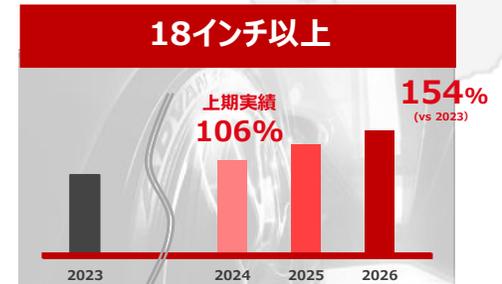
GEOLANDAR



WINTER



18インチ以上

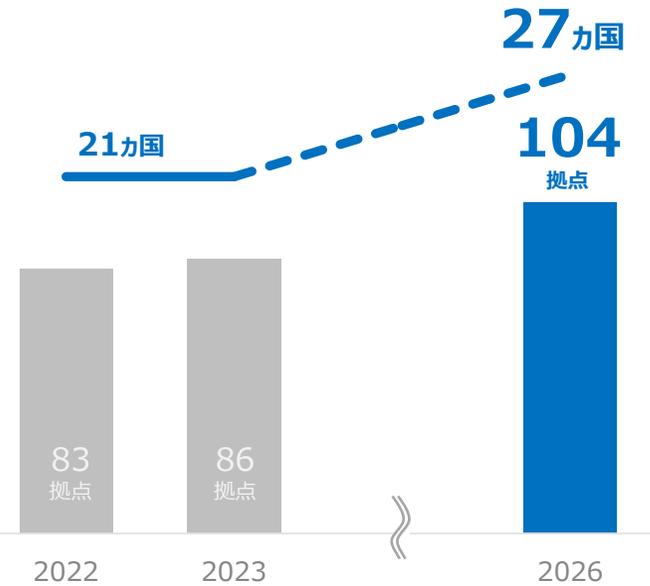


3-6) YX2026 タイヤ生産財 成長戦略の進捗

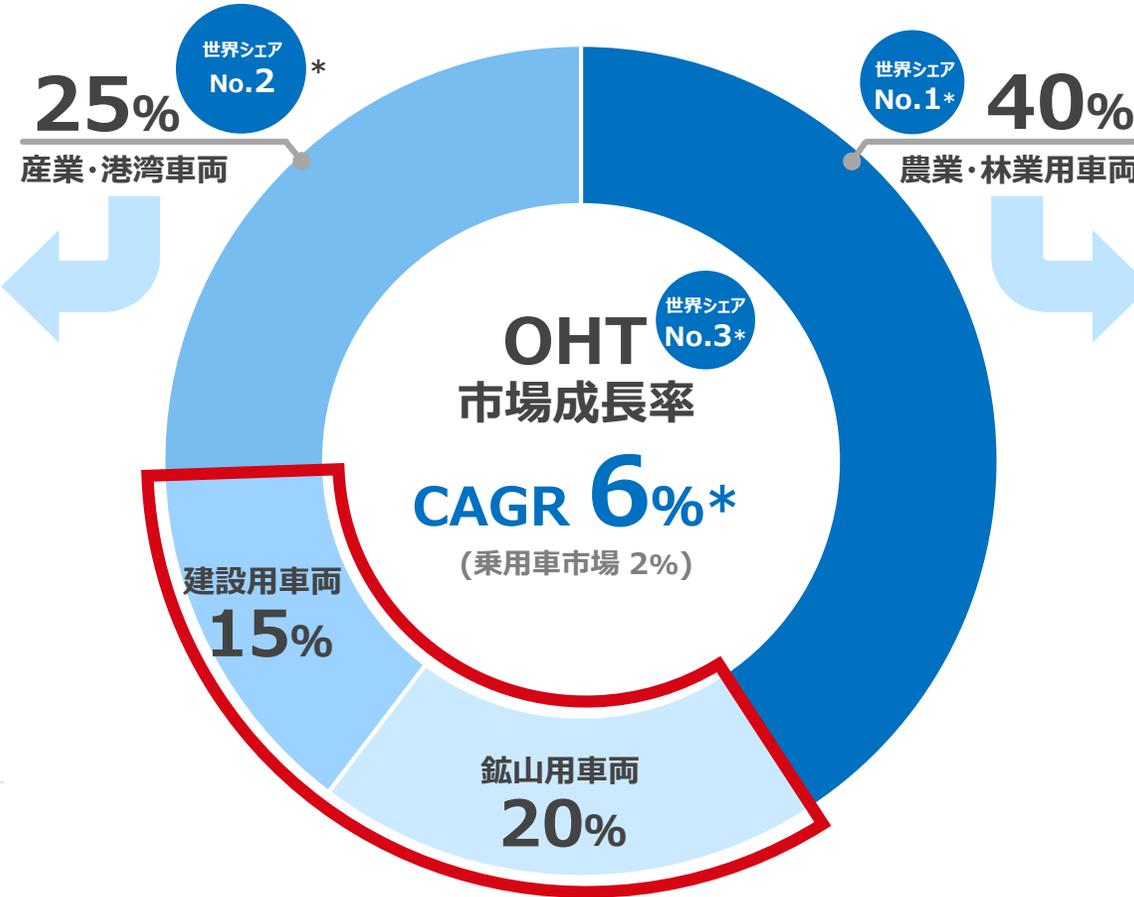


*当社推定

interfit
service • excellence
サービス強化



市場規模 約4兆円*



マルチブランド戦略

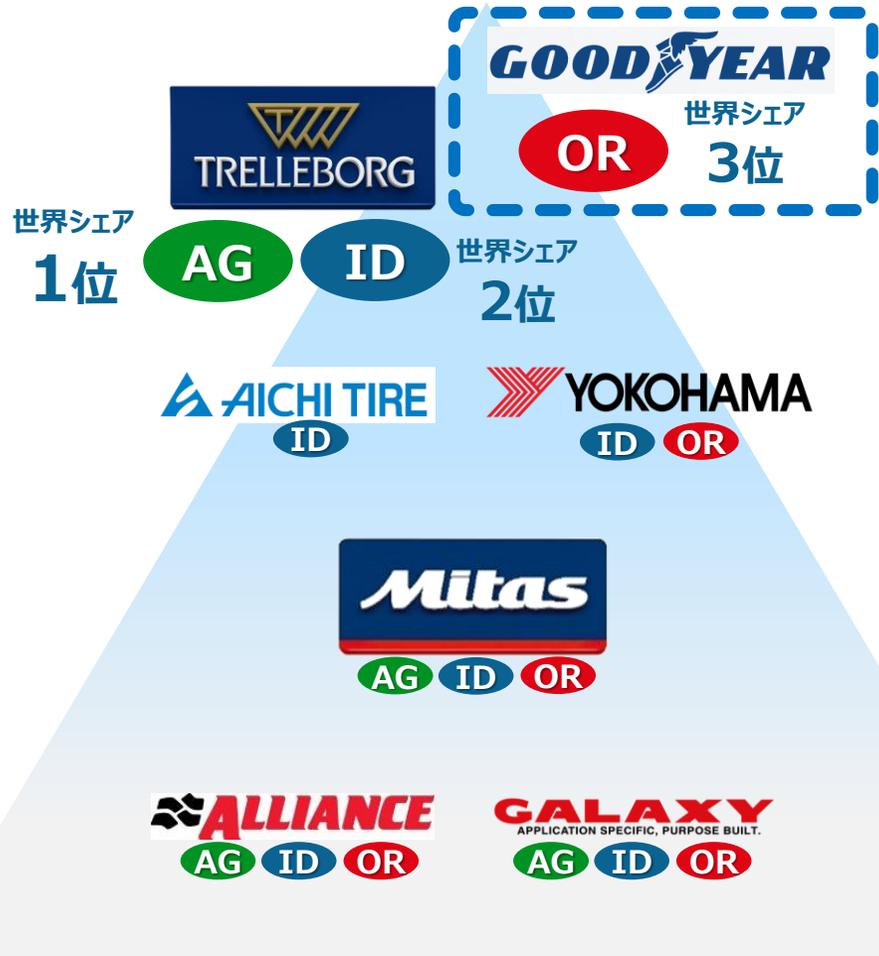


「 Programmatic M&A 」



(中央円グラフ：オフハイウェイ・タイヤの世界需要構成比)

3-7) YX2026 タイヤ生産財 成長戦略の進捗：ブランド体系・商品ポートフォリオ



	Agriculture	Forestry	Lawn Garden & Turf	Material Handling	Construction	Earthmover & Mining	Truck (OR)
YOKOHAMA AICHI TIRE TRELLEBERG	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Mitas	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ALLIANCE GALAXY	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

Goodyear OTR事業 買収後

	Agriculture	Forestry	Lawn Garden & Turf	Material Handling	Construction	Earthmover & Mining	Truck (OR)
YOKOHAMA AICHI TIRE TRELLEBERG	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Mitas	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ALLIANCE GALAXY	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

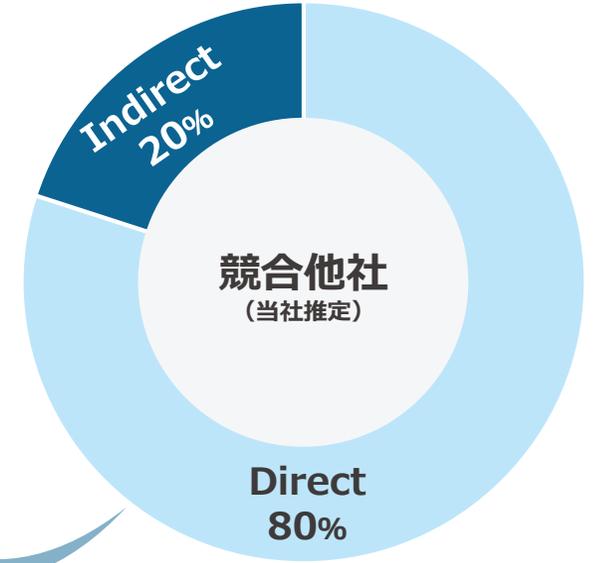
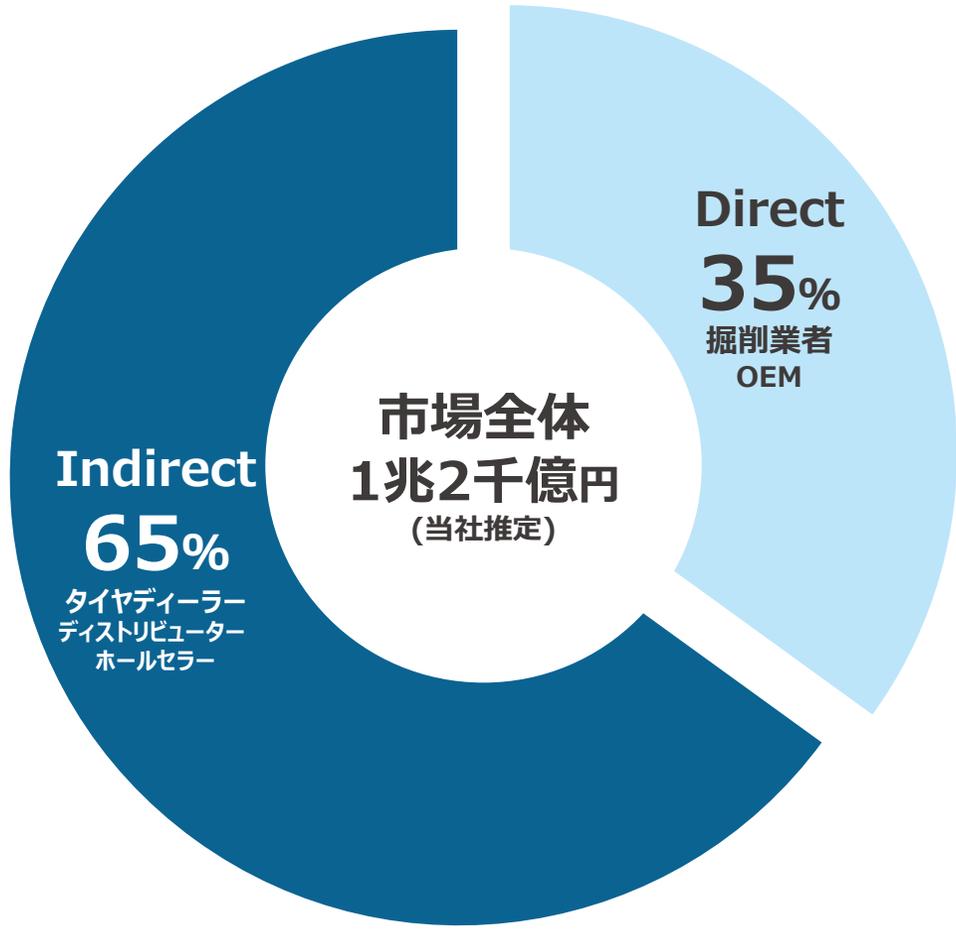
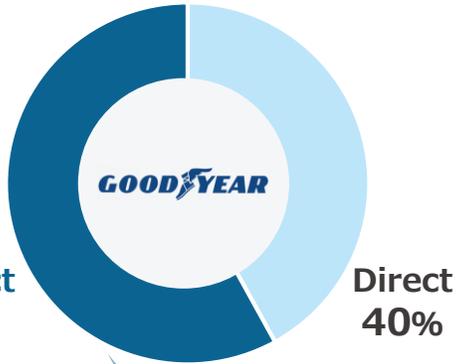
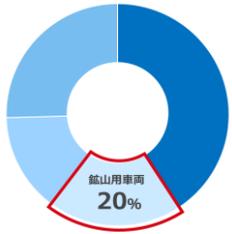
3-8) YX2026 タイヤ生産財 成長戦略の進捗：生産移管



		買収前			買収後		
		YOKOHAMA			GOOD YEAR		
		ラジアルORタイヤ スターマーク			ラジアルORタイヤ スターマーク		
		★	★★	★★★	★	★★	★★★
 小型サイズ	~25"	✓	✓	✗	△	△	△
					(欧米等生産：高コスト)		
 中型サイズ	29~45"	✓	✓	✗	△	△	△
					(欧米等生産：高コスト)		
 大型 超大型サイズ	49"	△	△	✗	✓	✓	✓
		(生産能力不足)			(日本生産：高収益)		
	57"	△	△	✗	✓	✓	✓
		(オフイク・関税問題)			(日本生産：高収益)		
	63"	✗	✗	✗	△	△	△
		(開発技術・生産能力なし)			(アメリカ生産：高コスト)		
					(当社工場への移管によるコスト改善) (当社工場への移管によるコスト改善) (供給能力改善) (供給能力改善) (たつの工場へ移設)		

3-9) YX2026 タイヤ生産財 成長戦略の進捗：OTR差別化戦略

同じTier 1 でも全く異なる戦略

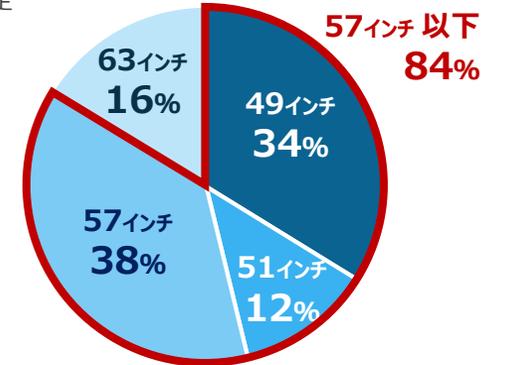


◆米国 OTR需要推移

*2001-2019年
期間平均を100としたインデックス



◆米国 49インチ以上 | インチ別需要構成
*当社推定



2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

TBR事業

北米

当社REP販売 1-6月累計 USTMA REP需要 1-6月累計

116% vs **101%**

欧州

当社REP販売 1-6月累計 欧州REP需要※ 1-6月累計

129% vs **80%**

YOKOHAMA米国TBR販売シェア推移



※当社推定

◆三重工場 小径トラックタイヤ向け（17.5”）
増産投資完了・稼働開始
2024年5月よりフル生産



MB事業

リソース集中による強化・拡大

ホース配管
成長ドライバー

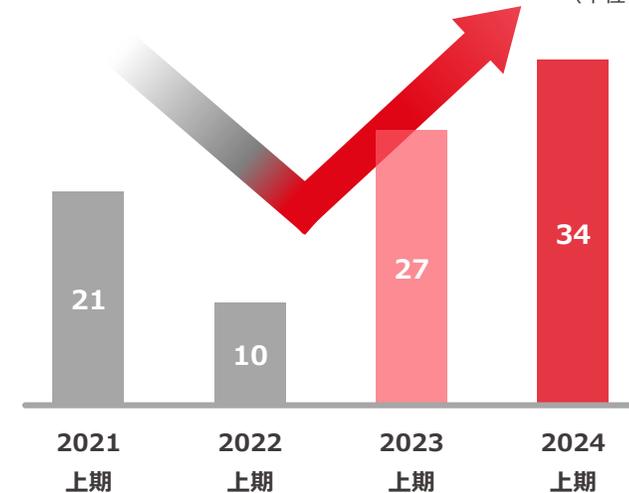
工業資材
安定収益化

- ◆油圧ホース
バリューチェーン再構築
- ◆自動車用ホース
生産構造の改革

- ◆コンベヤベルト
国内トップシェア
- ◆マリンホース・防舷材
高収益体制の確立

MB事業 事業利益推移

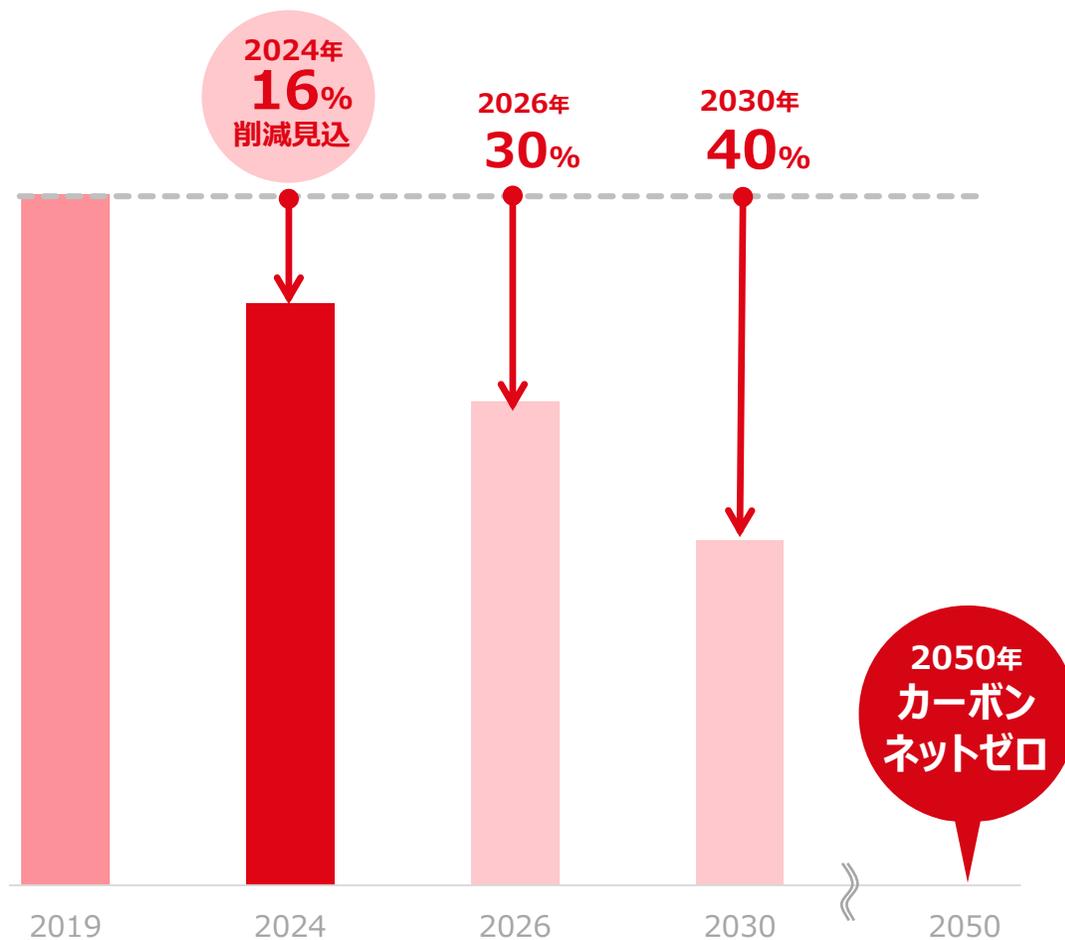
(単位：億円)



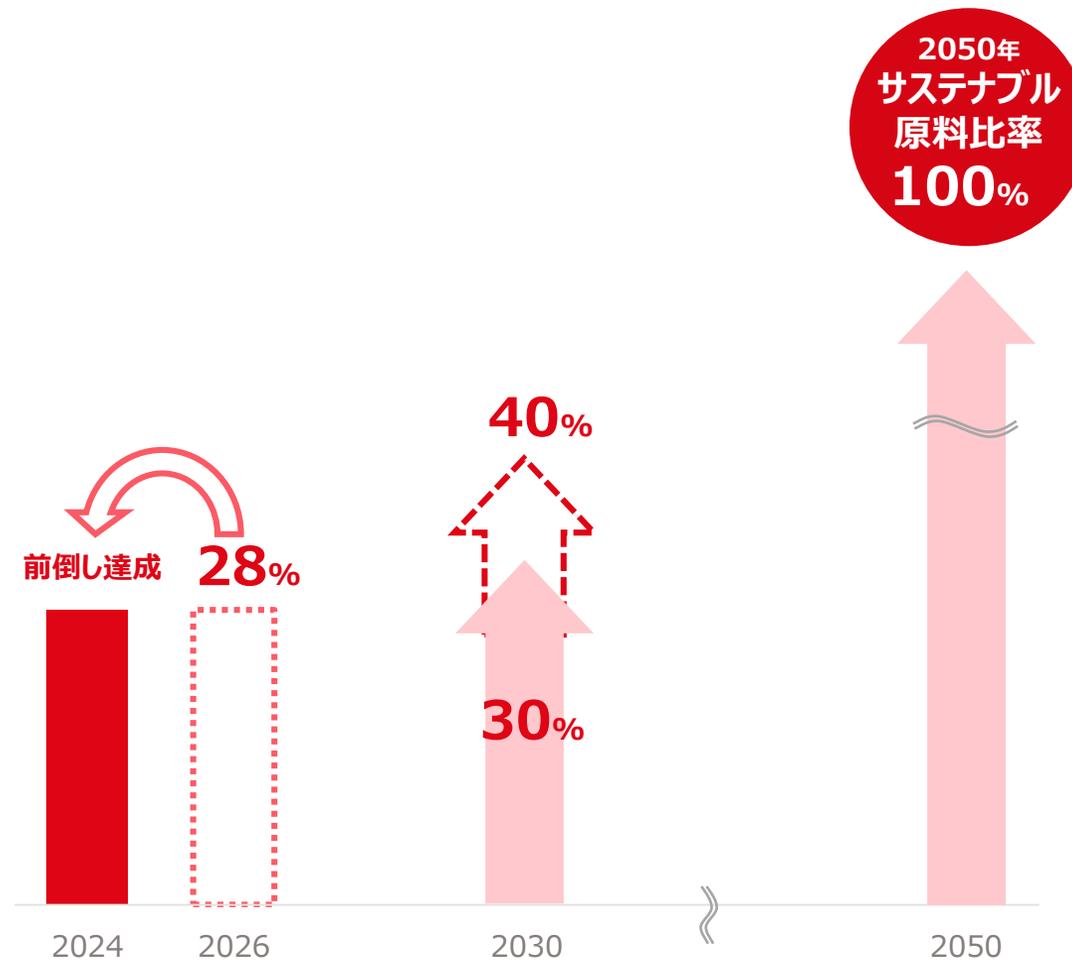
3-11) YX2026 サステナビリティの進捗



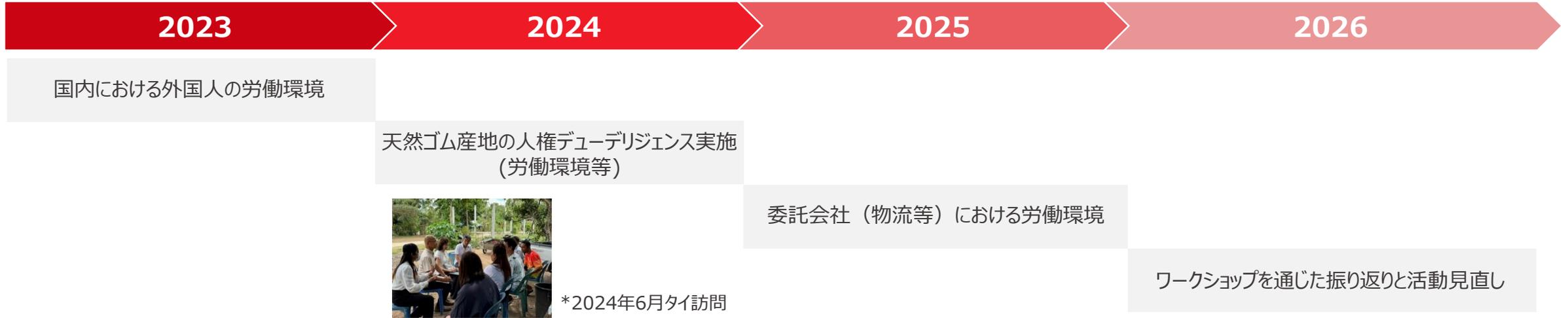
温室効果ガス排出量削減の進捗



サステナブル原料比率向上の進捗



人権デューデリジェンスの取組みとロードマップ



「サステナブル調達」の評価検証

環境省「先端技術を用いたASEAN地域からの自然資本のサステナブル調達の評価検証事業」



衛星に搭載されたセンサで取得された情報を解析するリモートセンシング技術などを活用

実施体制

みずほリサーチ&テクノロジーズ (研究代表機関)
国際航業 (共同研究機関)

【協力機関・学識者】

横浜ゴム
UCC上島珈琲
みずほ銀行
バイオーム等

外部評価

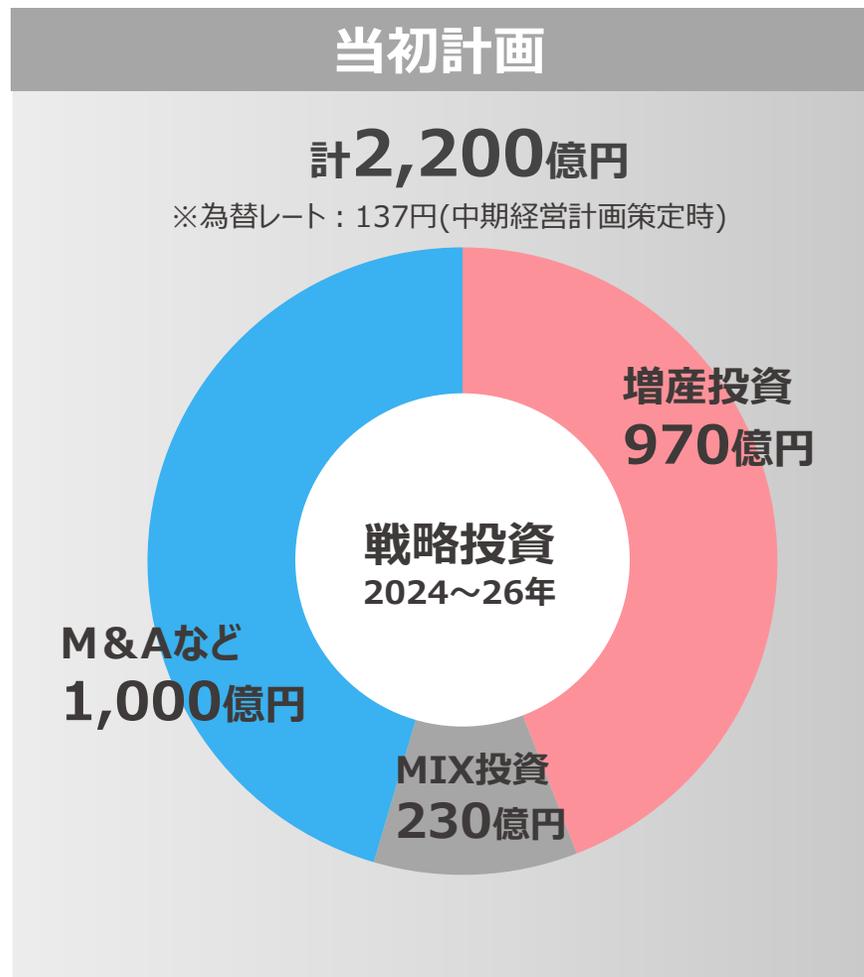
ISS ESG格付

(Institutional Shareholder Services社)

「ESGコーポレート・レーティング」の
「プライム」評価に初認定



3-13) YX2026 企業価値向上に向けた戦略投資の進捗



1. 2024年上期実績および年間計画修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

2. 2024年上期決算説明

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

3. 中期経営計画YX2026の進捗

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

4. 技術・生産改革コミットメント

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

5. YX2026目標数値の上方修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

タイヤ消費財「技術・生産」改革

『よいものを、安く、スピーディーに』

◆タイヤ開発スピードアップ

AI・シミュレーション技術活用
新興カーメーカー対応、投入新商品の最大化

◆『1年工場』への挑戦

早期立ち上げ ➡ 早期投資回収
自前主義からの脱却、買収シナジー最大化

スピーディー



よいもの
(品質)

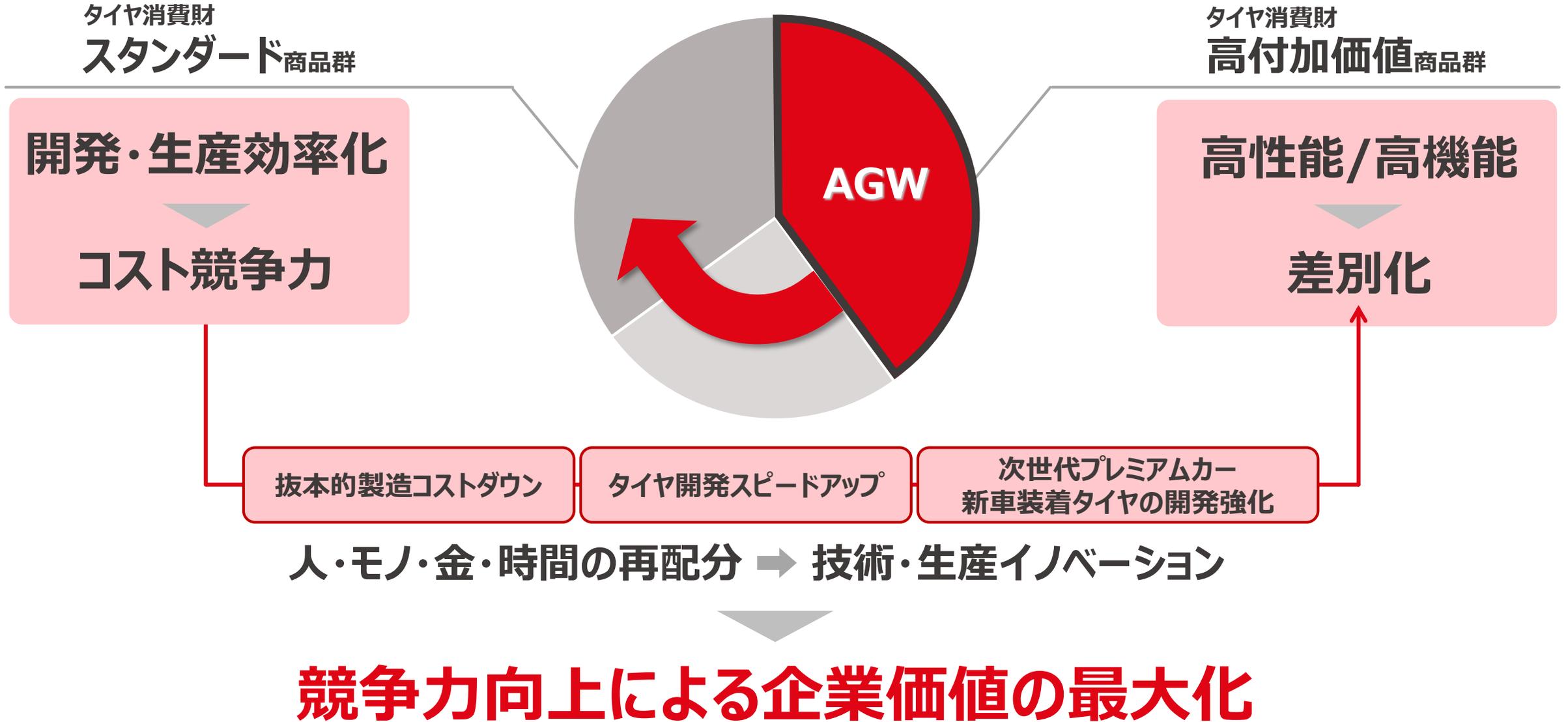
安く
(コスト)

◆次世代プレミアムカー 新車装着タイヤの開発強化

プレミアム電動車対応・耐摩耗・軽量化

◆抜本的製造コストダウン

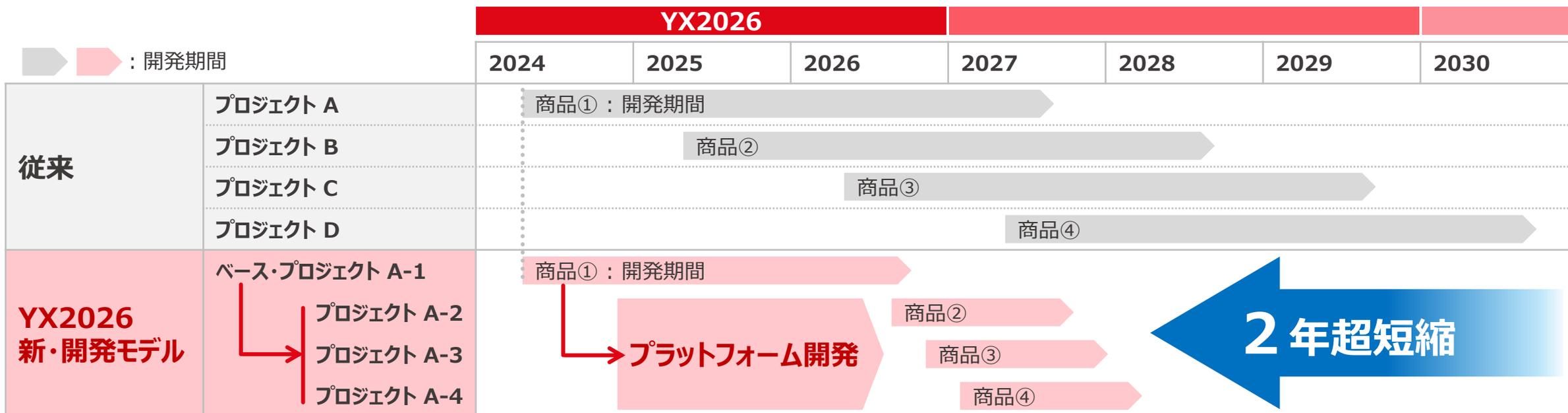
ATGの低コスト生産モデルの応用
買収スケールメリットによる原料調達コスト低減



4-3) YX2026 技術・生産戦略：タイヤ開発のスピードアップ



新商品 開発期間の短縮



共通パーツの使用拡大



HAI CoLabの活用※

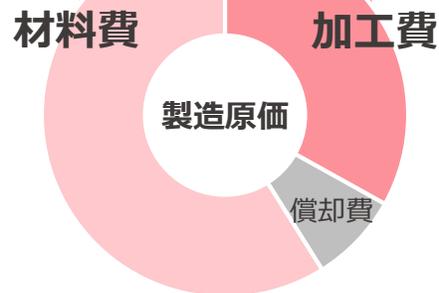
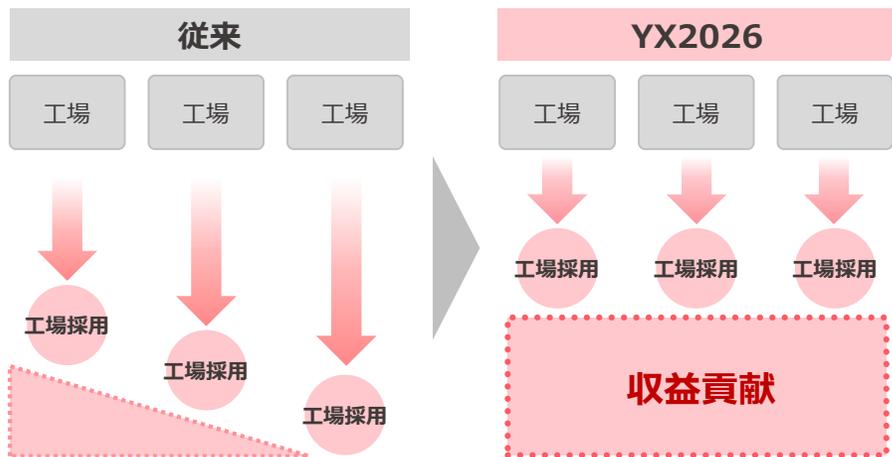
バーチャル・シミュレーション開発

市場トレンドに合わせた早期商品投入
商品ライフサイクルの最適化による収益貢献

4-4) YX2026 技術・生産戦略：抜本的製造コストダウン

材料費 コストダウン

- ◆ 新規サプライヤーの積極採用
- ◆ 汎用性の高い原材料の採用拡大
- ◆ 新規原材料の評価～採用プロセスのスピードアップ



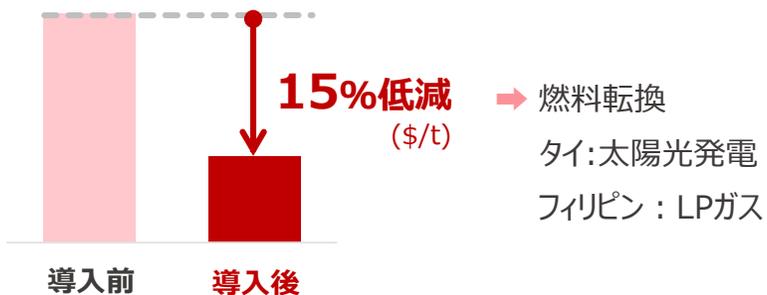
加工費 コストダウン

- ◆ ハイインチ生産設備の能力・稼働率の最大化 (フィリピン/タイ)



材料費コストダウン 加工費コストダウン

- ◆ エネルギーコスト削減 (フィリピン/タイ)



抜本的製造コストダウン
65億円削減

1. 2024年上期実績および年間計画修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

2. 2024年上期決算説明

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

3. 中期経営計画YX2026の進捗

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

4. 技術・生産改革コミットメント

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

5. YX2026目標数値の上方修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

2026年度修正財務目標

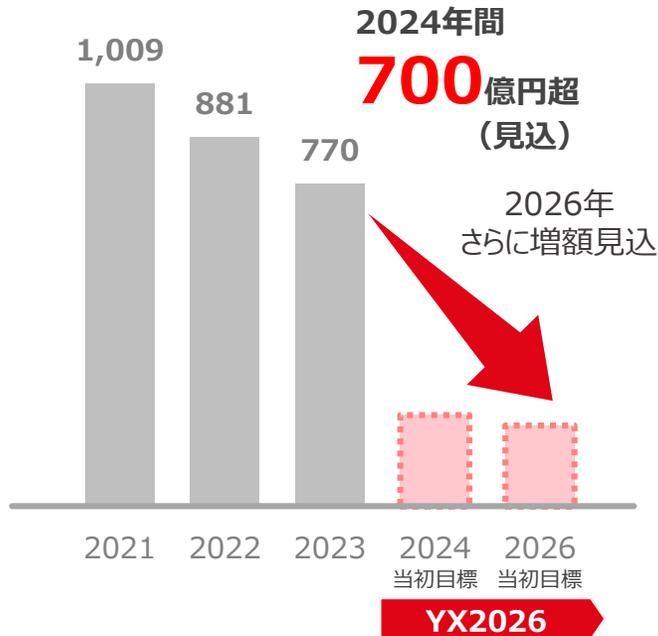
売上収益	1兆2,500億円
事業利益	1,500億円
事業利益率	12%
自己資本比率	50%を目安
ROE	10%超
営業CF	4,100億円 (3年間累計)
設備投資	減価償却費以内 (除く戦略投資)

PBR向上

政策保有株式

期初目標 約600億円売却

政策保有株式残高（時価）



キャピタル・アロケーションの変更

キャッシュイン／キャッシュアウト
4,900億円(4,500億円)



※自己資本比率50%
を大きく超えた場合

(カッコ内は変更前)

5-3) YX2026 Hockey Stick Growthの実現



過去100年の集大成

総仕上げ（過去との決別）

GD100

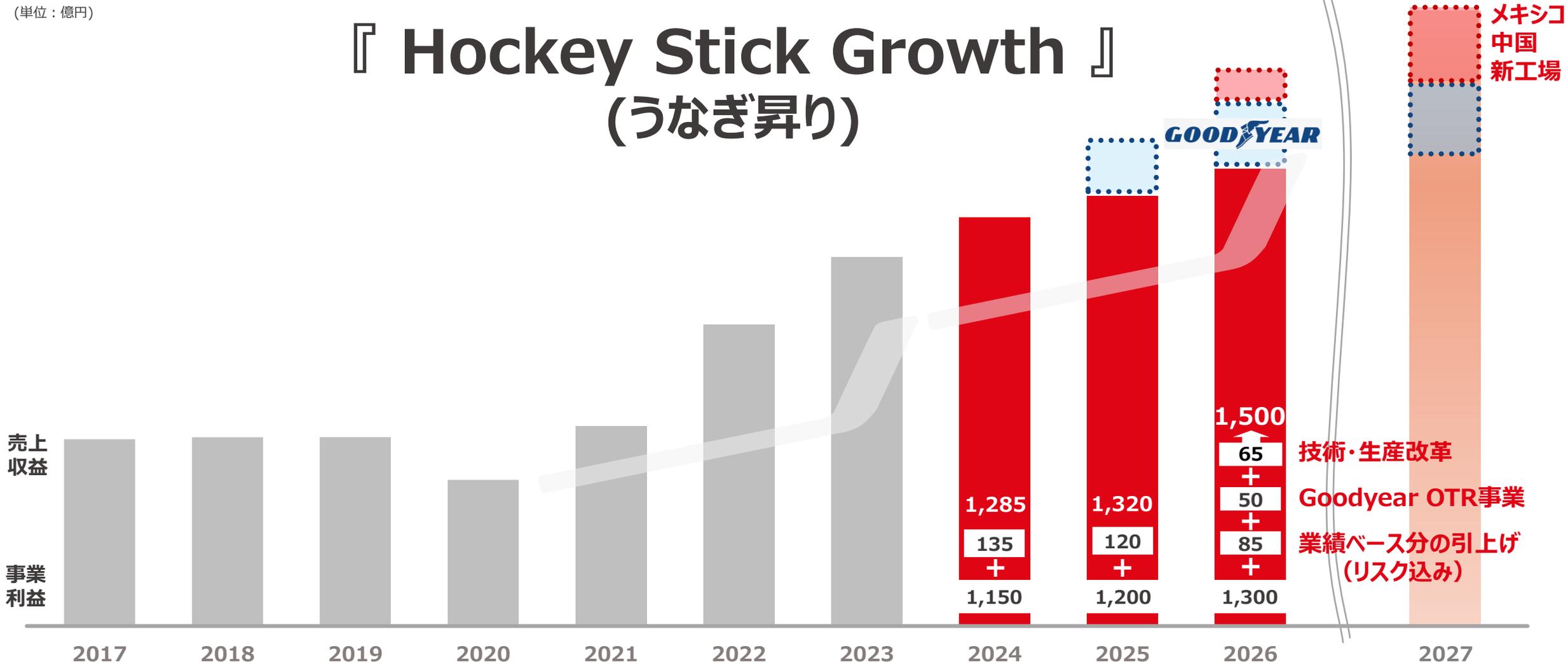
GD2020

YX2023

YX2026

(単位：億円)

『 Hockey Stick Growth 』 (うなぎ昇り)





YOKOHAMA
Transformation 2026